

JA広島市の自己改革進捗状況

JA広島市は、食と農を基軸に地域に根ざした協同組合として、組合員や地域のみならずから頼られ、「地域になくはならないJA」となることを目指し自己改革に取り組んでおり、実践にあたっては、「第8次中期経営計画」と「第6次営農振興計画」に実施施策を織り込み、目標の達成に向け、全力で取り組んでおります。

今回は、JA広島市が行っている自己改革の取り組みについて、令和2年度の実績および、計画の最終年度である令和3年度の目標について報告いたします。

JA広島市の自己改革 進捗管理表<令和2年度の実績と令和3年度の目標>

	取組目標	取組内容	令和2年度			令和3年度
			目標	実績	進捗率	目標
農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けた取り組みのステップアップ	販売力の強化 ●管内農畜産物の認知度向上に向けた取り組みと販売の強化	販売品取扱高	41.0億円	38.7億円	94%	42.0億円
		新たな出荷先の増加、アプローチ提案の実践	4先	4先	100%	4先
		直販取扱高	5.90億円	3.99億円	67%	6.00億円
		買取販売・契約販売	2.5億円	2.8億円	112%	2.8億円
	付加価値を付けた農畜産物販売の強化(ブランド化)	管内農畜産物のブランド化の促進	5品目	3品目	60%	5品目
		管内農畜産物を利用した6次化商品の取り組み	2商品	2商品	100%	2商品
	新たな担い手の確保と育成支援 ●担い手支援事業を中心とする新たな担い手確保と育成 ●農業経営の存続に向けた事業承継の支援	新規就農者(後継者含む)	20名	22名	110%	20名
		事業承継支援(法人化を含む)	2名	1名	50%	2名
	トータルコスト低減への取り組み ●ICT技術の活用等農業の効率化と省力化の推進 ●各種補助事業の活用と低コスト資材等の提案	トータルコスト低減につながる生産技術・仕組みの提案	5件	5件	100%	5件
		各種補助事業の活用	5件	6件	120%	5件
低コスト資材等の提案		5件	6件	120%	5件	
経営規模や経営形態に応じた農業経営支援 ●農業経営支援の実現に向けた体系構築と実践 ●専門性を高める人材育成、年間資格取得計画の作成	農業経営管理支援	2先	3先	150%	2先	
	専門営農指導員(営農実践企画研修参加)取得	1名	0名	0%	1名	
地域の活性化	「支店ふれあい活動」の充実と支援	1支店1ふれあい活動の実践(全支店実施)	100% (54支店)	9支店	17%	100% (全支店)
		支店広報紙(全支店)毎月発刊	100% (54支店)	54支店	100%	100% (全支店)
		准組合員を中心とした1支店1食農活動の実践(全支店実施)	100% (54支店)	10支店	19%	100% (全支店)
	組合員組織の基盤醸成とJAとのつながり強化 家の光・日本農業新聞 購読者拡大	家の光記事活用研修	110回	137回	125%	120回
		家の光三誌年間購読冊数	3,869冊	3,585冊	93%	3,869冊
		日本農業新聞購読部数	1,155部	1,044部	90%	1,155部
JAファーマーを起点とした農と協同の地域づくり	消費者との交流促進や情報発信による地域との関係づくり強化	季節に応じたイベント展開による地域との結びつきの強化	6回	6回	100%	6回
		直営ファーマーズマーケット販売目標	4.00億円	3.50億円	88%	4.50億円
自己改革を進めるJAの組合員とともに	組合員全戸訪問の徹底 ●面談率の向上に向けた取り組み強化 ●訪問リストの洗い替えによる組合員情報の適切管理	支店職員による組合員全戸訪問の徹底	33%	57%	173%	35%
		役員による訪問活動	3回	1回	33%	3回
	組合員・利用者の意思反映の実践 ●組合員の「声」を聴く、「広聴機能」の強化と組織内・部門間の共有	各種会合への積極的な参加による意見収集と組織内共有	300件	183件	61%	350件
		広報紙や情報紙のアンケート等を通じた「声」の収集と集約	2回	2回	100%	2回

新型コロナウイルスの感染状況を見定めつつ、「組合員の声を聴き・声に応える徹底した話し合い実践運動」として、支店職員による組合員全戸訪問活動や役員による認定農業者等への訪問を行い、組合員の意思とJA広島市の取り組みを隔たりのない同一方向とし、自己改革に向けた取り組みがよりよいものとなるよう、これからも役職員一丸となり取り組んでまいります。